

Celanese Corporation傘下の 機能性食品素材事業の株式取得



2023年6月23日
三井物産株式会社 (証券コード：8031)

本日はお忙しい中お集まりいただき誠に有難うございます。
三井物産ニュートリション・アグリカルチャー本部の渡辺と申します。
食料本部の遠藤と申します。

この度、当社は米国・大手化学品大手Celanese社傘下の機能性食品素材事業、Nutrinova社に出資参画することを決定しましたので、案件のご説明をさせていただきます。
当社はNutrinova社への出資参画を通じて、堅調な成長が期待されるグローバル・フードサイエンス市場において確固たる地位を築き、三井物産が「中期経営計画2026」で掲げるWellness Ecosystem Creation を通じて、人々のライフスタイルの質向上に繋がる価値を提供してまいります。

それでは説明に入らせて頂きます。

目次

- 1 案件概要
- 2 中期経営計画2026における位置付け
- 3 Celaneseとの強固なパートナーシップ
- 4 Nutrinova概要
- 5 企業価値向上策
- 6 フードサイエンス事業戦略

本日まで説明させて頂く内容は、このページに記載の6点でございます。

1. 案件概要

概要	米国の化学品大手Celanese Corporation（Celanese）の子会社である機能性食品素材の製造販売事業会社Nutrinova Netherland B.V.（Nutrinova）への出資参画
出資比率	当社 70%、Celanese 30%
取得対価	USD 472.5mil（約660億円）
クロージング時期	2024年3月期中
主要製品	アセスルファムカリウム（高甘味度甘味料） ソルビン酸・ソルビン酸カリウム（保存料）

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

3

まずは案件概要です。

当社は、米国の化学品大手Celanese社の子会社で、機能性食品素材の製造販売を行うNutrinova社へ出資参画いたします。

当社の出資比率は70%で、Celanese社は継続して30%株式を保有します。

当社出資比率に基づく取得対価は4億7,250万米ドルで、日本円に換算しますと約660億円となります。

クロージング時期は、マージャーファイリングによる審査結果次第でもありますが、今年度中の2024年3月末までを予定しています。

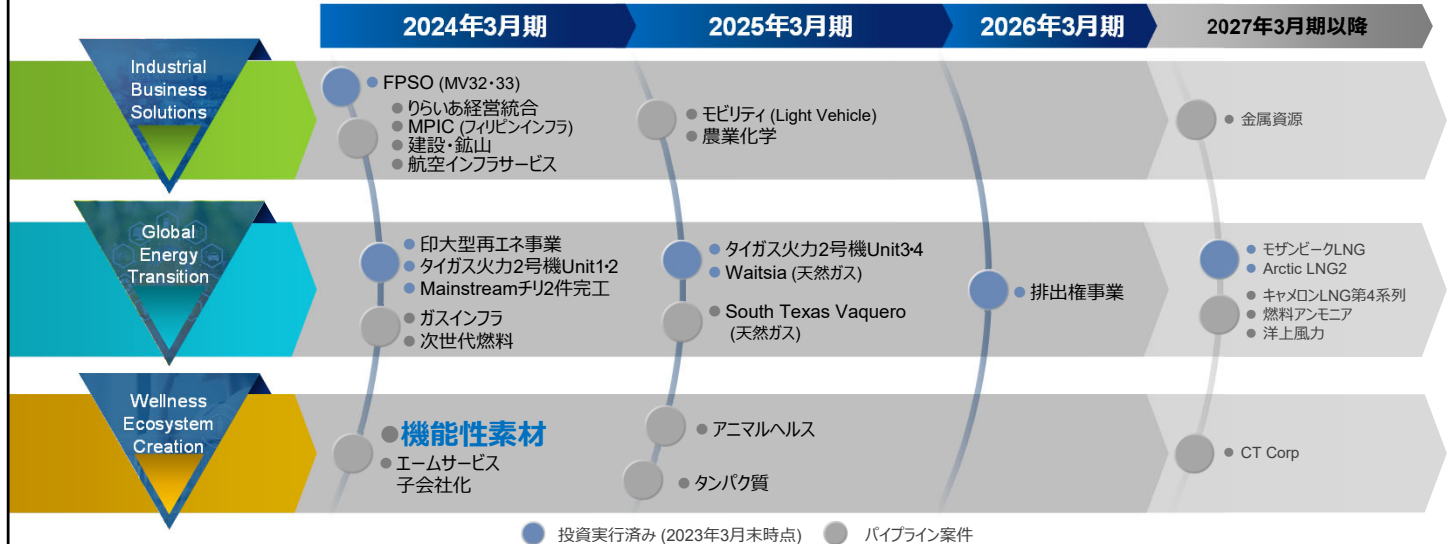
Nutrinova社の主要製品は、高甘味度甘味料のアセスルファムカリウムと、保存料のソルビン酸、及びソルビン酸カリウムです。

尚、本案件は化学品セグメントであるニュートリション・アグリカルチャー本部と生活産業セグメントの食料本部の共同プロジェクトとなります。

2. 中期経営計画2026における位置付け

新規案件の収益貢献開始時期

前中経期間中の投資の収益貢献開始、及び収益貢献開始の早い事業への投資による収益力の拡大



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4

こちらのページは、2023年5月2日に公表した当社の「中期経営計画2026」からの抜粋です。新中経においては、3つの攻め筋を設定しています。

3段目に記載のWellness Ecosystem Creationでは、「健康に通じる食の提供により、多様化する消費者のライフスタイルの質向上に貢献していくこと」と説明しておりますが、本案件は、まさにこの攻め筋で意図していた取組みの一つであり、2024年3月期に、投資実行直後から収益貢献が始まる予定です。

3. Celaneseとの強固なパートナーシップ

Celaneseとのパートナーシップによる事業拡大



2010年 シェールガス開発・生産

- シェールガス事業への本格参入
- 業界知見蓄積



2011年 米国内ガストレーディング

- 需給調整機能の発揮
- ガスバリューチェーンの拡充



2013年 メタノール製造

- エネルギー・化学品のセグメント横断取組
- 2023年、低炭素メタノール生産開始
- JV契約を2045年まで延長



2023年 機能性食品素材 製造販売

- 化学品・食料のセグメント横断取組
- フードサイエンス事業におけるグローバルプレゼンスの獲得
- Celaneseによる主要原料(酢酸)の継続供給

続いて、Celanese社とのパートナーシップについてご説明いたします。

当社は、2010年に米国シェールガス事業に本格的に参入し、そこで産出される天然ガスを起点とするガスバリューチェーンの拡充を図って参りました。

その一環として、2013年には、世界最大のメタノール需要家であり、酢酸の世界最大のメーカーでもあるCelaneseと、天然ガスを原料としたメタノール製造の合併事業を開始しました。

このプロジェクトは、2021年に設備を増強し、今年2月には2035年までだった合併契約を2045年まで延長するなど、Celanese社と共に着実に事業展開を進めています。

今回のNutrinova社への出資参画は、Celanese社との長年のパートナーシップをベースとして実現した第2号案件となります。当初、化学品部門がCelanese社と協議していた中から出て来た案件ですが、製品の用途が主に食品や飲料であることから、食料本部とも相談、フードサイエンス事業におけるグローバルプレゼンスを獲得する優良案件であることから、本案件の推進を決断したとの経緯がございます。

近年の化学品セグメントと、生活産業セグメントの食料本部の共同出資案件としても3件目ということとなりました。

尚、Nutrinova社で製造される製品の原料には、米国の合併会社のメタノールから製造される酢酸が主原料として使用されており、米国からグローバルにガスバリューチェーンを繋げる取組みとしても、意義のある案件となっています。

4. Nutrinova概要①

社名	Nutrinova Netherlands B.V.
従業員数	約130名
所在地	本社 オランダ/アムステルダム 工場 ドイツ/フランクフルト
実績 (2022年度)	売上高: USD 171mil (約240億円) EBITDA: USD 46mil (約65億円)
主要製品	アセスルファムカリウム (高甘味度甘味料) ソルビン酸・ソルビン酸カリウム (保存料)
製品用途	食品・飲料、パーソナルケア製品、ホームケア製品、医薬品
沿革	1967年にソルビン酸の製造開始 1993年にアセスルファムカリウムの製造開始 (アセスルファムカリウムはCelaneseの前身企業Hoechstが発見)

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

6

次に出資参画先のNutrinova社についてご説明いたします。

従業員は、欧州を中心に約130名で、本社はオランダのアムステルダム、工場はドイツのフランクフルトにあります。

2022年度の定量面での実績としては、売上が1億7,100マン米ドル、日本円に換算すると約240億円で、EBITDAは4,600万米ドル、約65億円です。

主要製品は、先ほど申し上げた通り、アセスルファムカリウムと、ソルビン酸、およびソルビン酸カリウムです。

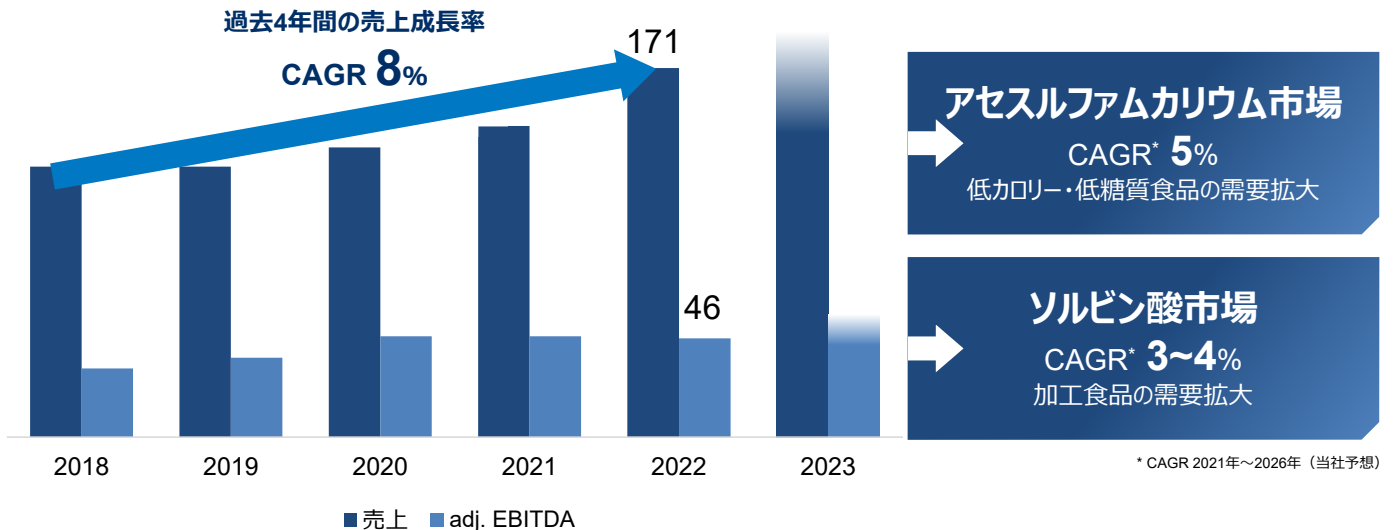
用途については、後ほどご説明いたしますが、食品・飲料を始め、幅広い用途で使用されています。

Nutrinova社は、1967年にソルビン酸の製造を開始し、1993年にアセスルファムKの製造を開始しております。

尚、アセスルファムカリウムはCelanese社の前身のドイツの総合化学企業で、製薬メーカーでもあったHoechst（ヘキスト）社が1967年に発見、開発をしたものです。

4. Nutrinova概要②

(単位：USD mil)



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

7

Nutrinova社の定量面ですが、過去4年間の売上成長率はCAGRで8%と、着実に成長してきています。

Celanese社からCarve Outされた事業であるため、税後利益までは算出しておりませんが、底堅くEBITDAを稼ぎ出している事業でございます。

将来に目を向けますと、両製品の市場規模は着実に増加していくことが予想されています。

アセスルファムカリウムは、低カロリー・低糖質食品の需要拡大が見込まれるため、2021年から2026年のCAGRは5%を見込み、ソルビン酸も加工食品の需要が拡大するため、CAGRは3~4%で見込んでいます。

これらの需要増をしっかりと取り込むことで、Nutrinova社の収益も更に伸びていくものと認識しています。

2023年に関しては、既に今年も数カ月が経過しておりますが、ほぼ計画通りに進捗しており、計画達成の蓋然性は相応に高いものと考えております。

4. Nutrinova概要③

アセスルファムカリウム

Sunett®
Brand Sweetener

- ◆ 砂糖の200倍の甘味を持つ高甘味度甘味料
- ◆ 低糖質・低カロリーなレシピ開発が可能
- ◆ 味の決め手となる甘味の分野で重要な役割
(甘味の発現が早く、スッキリとした味質)
- ◆ 高品質品として世界的なトップブランド

用途例



※上記素材を使用できる最終製品や使用基準は、各国の食品添加物関連の規制により異なる

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

ソルビン酸

nutrinova

- ◆ 自然界に存在、カビや酵母・細菌に幅広い効果
- ◆ 古くから食品に利用されてきた実績
- ◆ 無味・無臭で、他の食材の味に影響を与えない
- ◆ フードロス問題への対応にも貢献

用途例



製品の概要についてご説明いたします。

アセスルファムカリウムは、砂糖の200倍の甘味を持つため、甘味を維持しつつも低糖質・低カロリーなレシピの開発が可能な素材です。

甘味の立ち上がりが高く、すっきりとした味質を持つことから、味の決め手となる甘味の領域で重要な役割を果たしています。

Nutrinova社の商品名であるSunett（サネット）は、高品質品として、世界中の飲料・食品の製造シーンにおいてトップブランドの製品として浸透しています。

右側に記載のソルビン酸は、もともと自然界に存在する物質であり、カビや酵母、細菌などへの幅広い効果があることから、古くから食品に利用されてきました。

無味・無臭であることも大きな特徴の一つで、他の食材の味を邪魔しないため、応用範囲が広く、飲料や食品の保存期間を延ばすことで、フードロス問題の解決にも大きく貢献しています。

夫々の製品の用途は、ここに表記の通りですが、食品・飲料、医薬品、パーソナルケアなど、多岐に亘ります。

4. Nutrinova概要④



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

9

Nutrinova社の競争優位性について、大きく分けて4点お話し致します。

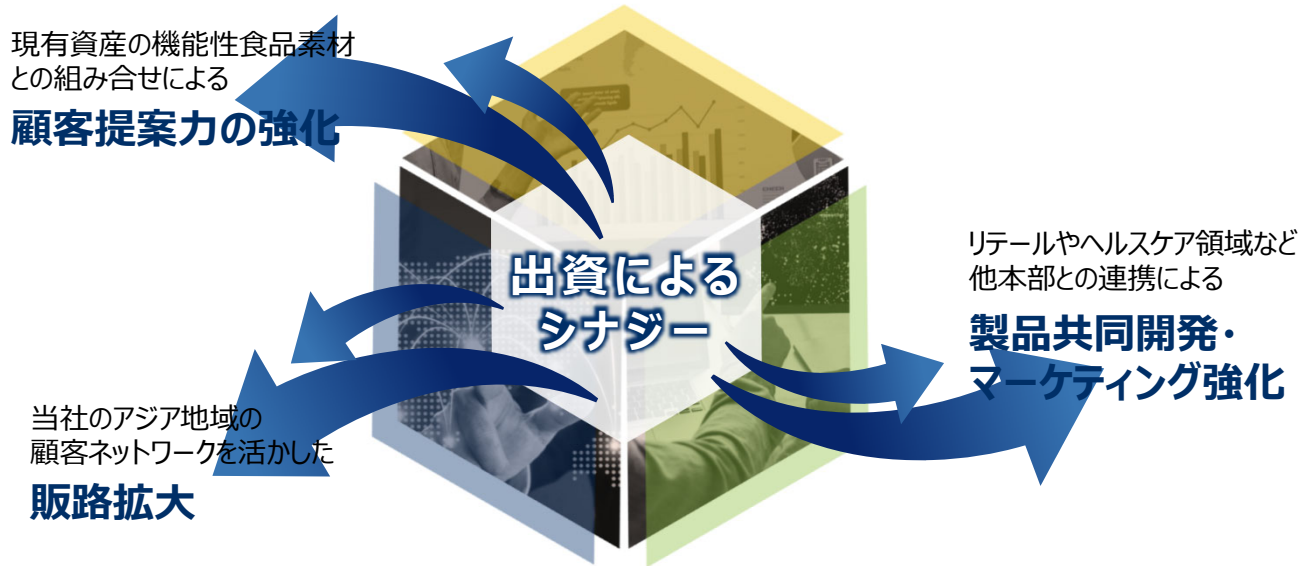
一つ目はグローバルな顧客アセットです。Nutrinova社の主要顧客は、飲料・食品のグローバル大手企業であり、長期的かつ安定したパートナーシップを構築しています。

二つ目は、両製品ともに、唯一の欧米サプライヤーであるということです。近年の地政学リスクの高まりを背景に、原料の安定調達を担保するサプライチェーンの構築が重要な命題となっており、Nutrinova社は、その文脈においても大切な役割を果たしていると認識しています。

三つ目は、品質優位性です。Nutrinova社は、競合他社に比べて、高品質・高純度な製品を作る優れた製造技術・製造プロセス・特許を持っています。また、両製品ともに、業界のリーディングカンパニーとして、膨大な製品知識とデータの蓄積がございます。

四つ目は、多様なアプリケーションです。先程申し上げた通り、様々な飲料・食品に利用されていることを始め、高純品であるという差別化要因により医薬品やパーソナルケア製品への使用も認められるなど、非常に幅広い分野で使用されています。

5. 企業価値向上策



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

10

続いて、企業価値向上策についてご説明いたします。出資によるシナジー創出は、主に3つのアプローチで進めます。

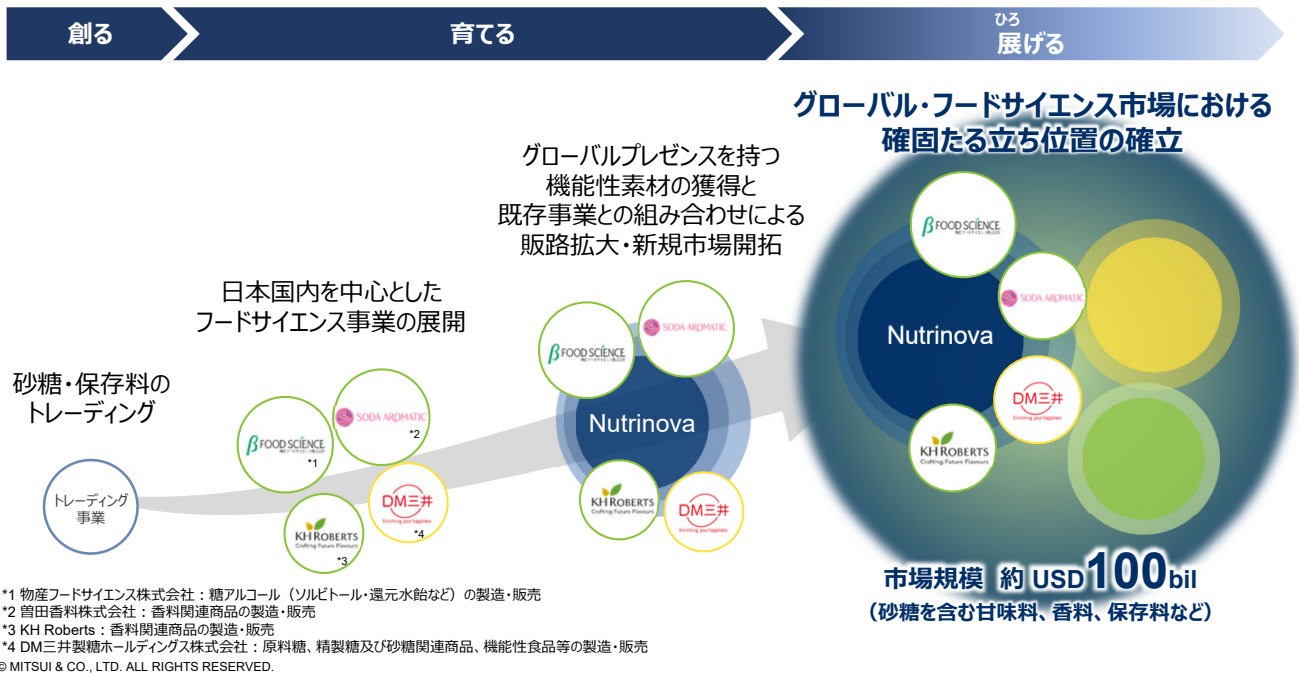
一つ目は、当社の現有資産との掛け合わせです。当社の出資先が保有している香料や甘味料などの機能性素材と、レシピ開発力の組み合わせを通じて、単品営業ではなく、顧客のニーズを総合的に解決できるよう、顧客提案力を強化します。

二つ目は、当社の顧客ネットワークを活用した販路拡大です。Nutrinova社の現在の売上は、欧米が中心となりますので、当社のアジアの顧客ネットワークと掛け合わせることで、伸び行くアジアマーケットを中心に顧客基盤を拡大します。

三つ目は、化学品・食料セグメントのみならず、当社のリテールや、ヘルスケア領域でも他本部と連携して取り組み、より最終製品に近いところで、社会ニーズに応える付加価値の高い製品の共同開発やマーケティングを行う予定です。

Nutrinova社は、両方の製品について生産能力の増強計画を進めており、シナジー発揮で獲得する上積み分をしっかりと収益面でも取り込んでいく方針です。

6. フードサイエンス事業戦略



11

最後に、当社の今後のフードサイエンス事業戦略についてご説明いたします。

これまでの当社のフードサイエンス事業は、国内を中心に、甘味料、香料など機能性食品素材のポートフォリオを保有していましたが、事業範囲は日本を中心とするアジア地域に限定されてきました。

今回のNutrinova社への出資参画により、事業基盤をグローバルに広げると共に、既存事業とのシナジーを発現させて、販路拡大と市場開拓を進めてまいります。その上で、隣接する事業領域で、インオーガニックの取組を含め、更にポートフォリオを拡充し、より付加価値の高いサービスを提供できる事業群を形成し、約USD100Bil（1,000億ドル）とも言われるグローバル・フードサイエンス市場において確固たる立ち位置を確立する方針です。

Nutrinova社への出資参画は、そのあり姿の実現に向けた重要なステップであり、今後も当社の総合力を発揮し、事業運営を行って参ります。

私からの説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

360° business innovation.

